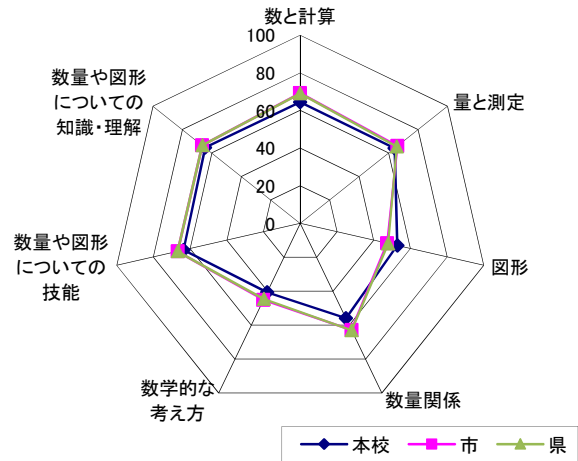


宇都宮市立白沢小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	64.5	69.2	69.1
	量と測定	64.2	66.1	65.6
	図形	52.9	47.4	48.0
	数量関係	55.9	62.9	63.1
観点	数学的な考え方	40.6	45.1	44.6
	数量や図形についての技能	63.6	66.8	66.8
	数量や図形についての知識・理解	64.7	66.6	66.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●領域の平均正答率は、県平均と比べて4.6ポイント低い。 ●繰り下がりのある4位数の計算は、県平均と比べて15.6ポイント低い。 ● $\frac{3}{4}$ の大きさを捉え、正しくあらわされた図を選ぶ設問では、県平均と比べて8.7ポイント低い。 ○3位数×2位数の計算については、県平均と比べて5.4ポイント高い。	・計算の手順や操作の仕方を再確認し、復習プリントやドリルで定着を図る。 ・数を数直線や図で表す活動を取り入れ、数の大きさを身に付けさせる。
量と測定	●領域の平均正答率は、県平均と比べて1.4ポイント低い程度だが、全体的な正答率としては、64.2%とあまり高くない。 ○教科書1冊のおよその重さを選ぶ設問は、県平均を6.3ポイント上回っている。 ●分と秒の単位換算の設問は、県平均と比べて12.7ポイント低い。	・今後も数量感覚をつかめるような具体操作を取り入れた授業を行う。 ・長さや重さ、時間などの単位換算の仕方を再確認し、復習プリントやドリルで復習して定着を図る。
図形	○領域の平均正答率は、県平均と比べて4.9ポイント高い。 ○正三角形の作図の設問は、県平均よりも12.7ポイント高い。 ○円の直径の作図においては、県平均よりも5.8%上回っている。 ●円を利用してかいた三角形の名前とその理由を答える設問は、県平均の正答率が4.4%とかなり低いですが、本校の正答率も2.0%と、ほとんどの児童ができなかった。	・器具操作を学習するときには、操作手順などを丁寧に指導していきたい。 ・円や三角形、四角形など、図形の定義や性質を確実に理解させるために、多くの図形に触れたり調べたりする活動を行っていく。
数量関係	●領域の平均正答率は、県平均と比べて、7.2ポイント低い。これは、全領域の中で最も低い。 ●未知の数量を□として、数量関係を表した線分図を選ぶ設問は、県平均と比べて、8.4ポイント低い。 ●表や棒グラフからわかる正しい内容を選ぶ設問は、県平均と比べて12.4ポイント低い。 ●式が表している意味を読み取り、適した考えを選ぶ設問は、県平均と比べて7.2ポイント低い。	・問題を線分図で表すなど、積極的に図を使う活動を取り入れ、自分の考えを図で表すことのよさに触れさせる。 ・表の目盛りも含めて、グラフの作図に取り組ませ、さらに、そこから読み取れることを考えさせる。 ・自分で立てた式や友達が立てた式を説明する活動を、授業の全体活動や交流活動で取り入れる。